

現行の授業観察制度のFD化について

○目的

他の教員の授業を観察することは、新たな教授法について知る機会になり、また、授業観察を受けた側はコメントをもらうことで、自身の授業に関して新たな気づきを得ることができる。このように授業観察は、授業者および観察者の双方にとって効果が高いものと考えられ（中期計画【4-1】達成指標・基準①教員相互による授業評価実施状況に関連）、現在、全学モジュール・外国語科目で授業観察の制度は設けられているが、ほとんど実施されていないのが現状である。

そこで、授業観察をFD認定することで、授業観察に対する教員のモチベーションを高め、授業改善を進めることとし、中期計画【4-1】達成指標・基準①をも満たすことを目的とする。

○授業観察対象科目

授業公開科目（全学モジュールⅠ・Ⅱ科目、外国語科目）

○FD認定のための要件

1コマおよび2コマ連続の授業時間に関わらず、60分以上の観察を行い、現行の授業観察のシステムにおける「授業観察記録フォーム」の提出を行うこととする。

【FDの認定】

- ・授業者および観察者双方にFD認定する。
- ・大学教育イノベーションセンターにて「授業観察記録フォーム」を集約・確認し、評価・FD教育改善専門部会と教務委員会にてFD認定する。

○認定開始時期

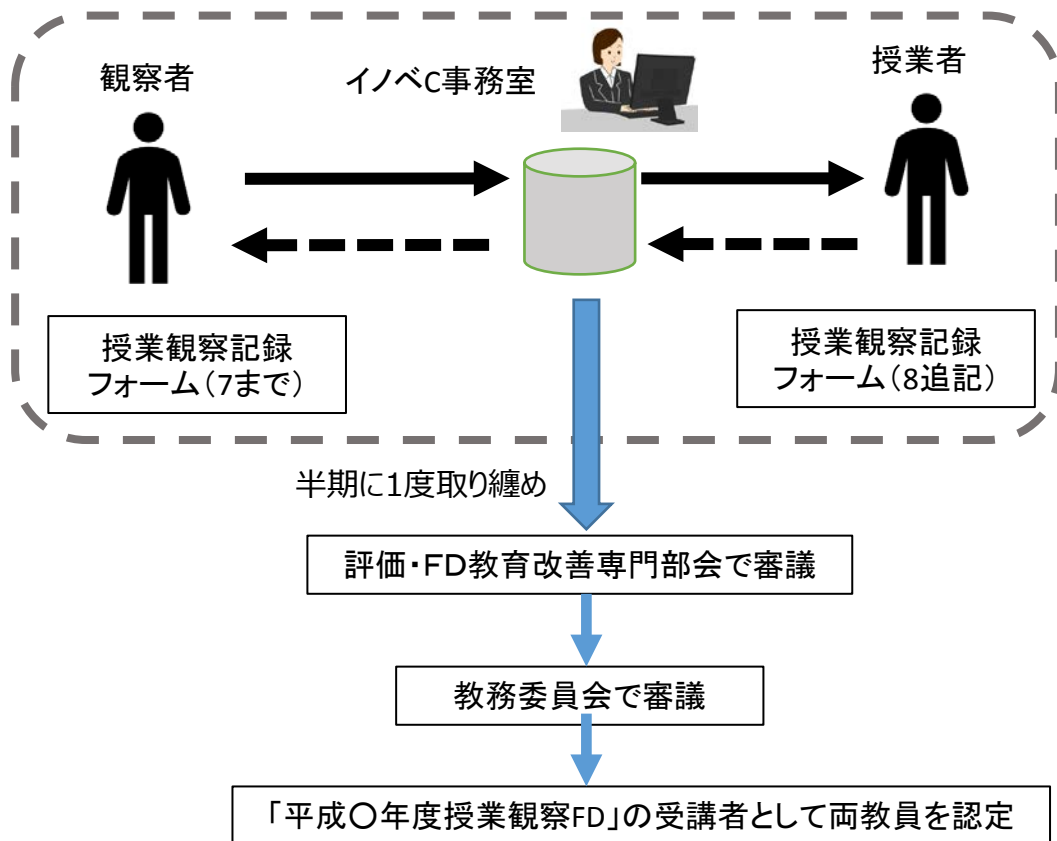
- ・平成30年度後期から

（各授業担当者に公開日・非公開日の調査の中で、FDについても説明するため）

○会議での承認手続き

- ・毎年度、全学FDとして「平成〇年度授業観察FD」を設定する。
- ・大学教育イノベーションセンターは集約されたデータを作成し、半期に1度、評価・FD教育改善専門部会と教務委員会で報告・承認された場合、「平成〇年度授業観察FD」の受講者として認定する。

現行の授業観察



授業観察記録フォーム

提出された「授業観察記録用紙」は、教養教育班（教育改善）から授業公開の授業担当者へ送付し、授業担当者からコメントを頂いた後、参観した教員にご送却いたします。

- ※印は入力必須項目です。

所属※	<input type="text"/>
参観者の氏名※	<input type="text"/>
E-mail※	<input type="text"/>
観察科目名※	<input type="text"/>

❗ 既に入力済のExcelファイルを選択し「Excelファイル取込」ボタンを押してください。

Excelファイル選択 ファイルが選択されていません。

記録用紙

授業観察記録用紙				
1. 基本事項				
観察日時	年	月	日	校時
観察科目名	授業担当者氏名			先生
時間割コード	受講者数	授業教室番号	教室	
観察者所属	氏名	E-mail		
2. 学習環境 (※ 撮影用のプロジェクターを装着していた。可動式であったと授業にあわせてレイアウトが可動であった。等)				
3. 授業概要				
4-1. 授業で用いられている手法				
<input type="checkbox"/> 座学	<input type="checkbox"/> 演習	<input type="checkbox"/> 調べ学習	<input type="checkbox"/> クースメント	<input type="checkbox"/> 創成学習
<input type="checkbox"/> クリカ	<input type="checkbox"/> 講義	<input type="checkbox"/> ディスカッション	<input type="checkbox"/> シミュレーションゲーム	<input type="checkbox"/> プロジェクト学習
<input type="checkbox"/> 小テスト	<input type="checkbox"/> 授業外学習	<input type="checkbox"/> デベート	<input type="checkbox"/> 複雑基盤型学習	<input type="checkbox"/> 異校
<input type="checkbox"/> 採の感のシート	<input type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> フルゼンテーション	<input type="checkbox"/> 異校	
<input type="checkbox"/> 異校	<input type="checkbox"/> ペアワーク	<input type="checkbox"/> レポートライティング	<input type="checkbox"/> フィールドワーク	
4-2. 学生の思考を活性化させるための工夫 (※ 学生に考えさせる機会があった。等)				
2				
5. 受講生の様子				
6. 学ぶべき点 (良かった点)				
2 ページ				
7. 観察しての意見 (授業改善の立場から)				
8. 授業担当者からのコメント				